

こんな無駄も、ガイドウェイ組立ヤード

9月16日(金)の『信毎』によれば(と、とりあえずしておきます)、高森町はリニアのガイドウェイ組立ヤード用の用地の候補地、2か所を長野県に申請しました。場所は下市田河原と山吹地区の2か所。JR東海が必要としているのは合計12ヘクタール(Ha)。喬木村がすでに申請しているのが堰下地区の5Haで、高森町の分は下市田河原13.4Haと山吹4.18Ha。

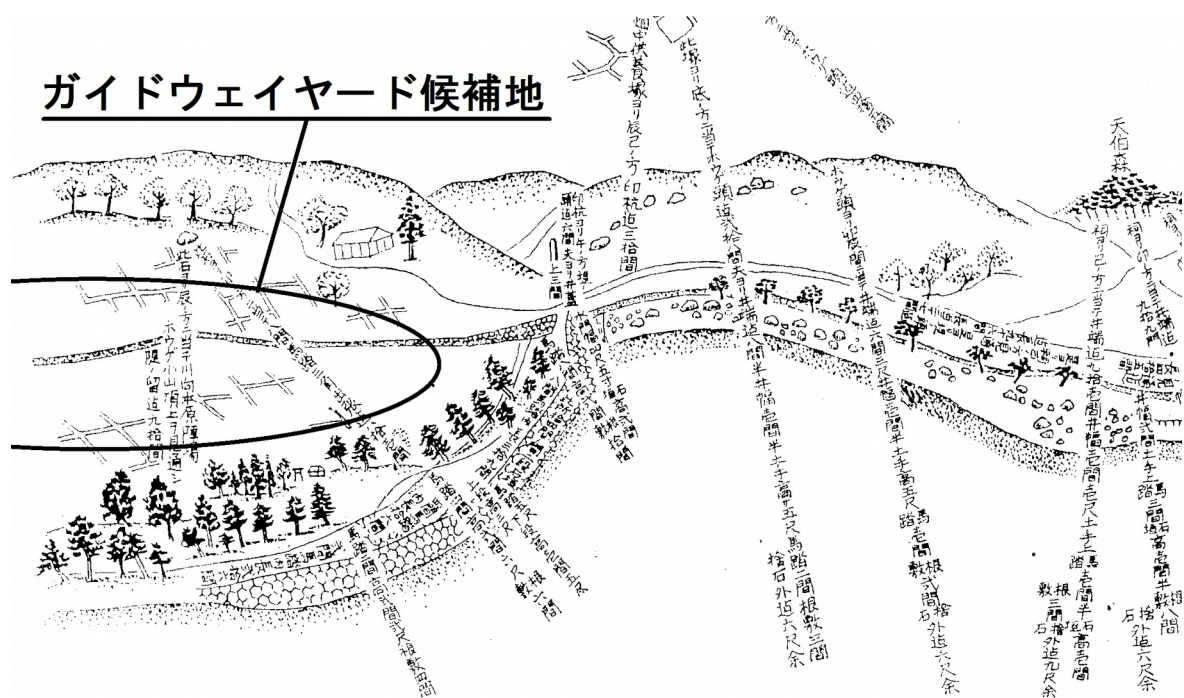
候補地の一つ下市田河原は、天竜川に近い水田地帯。近くには親水公園もあり、景観の良い場所です。堤防上でのウォーキング、野鳥観察、マレットゴルフなど、周辺住民にとっては格好の憩いの場でもあります。

現在の堤防は1961年の三六災害で流失した惣兵衛堤防にかわって築かれたものです。惣兵衛堤防は流失するまでの約200年間、下市田河原の100ヘクタールの美田を護り続けた歴史ある堤防でした。現在の堤防は旧堤防より約50mほど引っ込んで造られましたが、堤防で水田を護ってきた姿が今でもはっきりと見てとれる歴史的景観、文化的景観です。周辺には惣兵衛堤防の付け根部分のほか、新旧の堤防に関わる石碑類ほかの遺物が残されています。

喬木村の堰下もですが、リニアの賛否に関係なく、これだけの優良農地を潰してしまうのはもったいないことと思います。

リニアのガイドウェイは鉄道のレールに相当するものです。コンクリート製の桁状のものやパネルにコイルを取り付けたものです。普通の鉄道ではレールは製鋼所の圧延工程で造って貨車に積んで、必要な場所まで鉄道で運び枕木に取り付けるので、広大なガイドウェイ組立ヤードのような施設などは必要ありません。トンネルから出る残土の処分場所の問題、リニア専用の中電の佐原の超高压変電所と送電線、そしてガイドウェイ組立ヤードと次から次へと余計な土地を必要とするリニアは本当に無駄の多い交通機関だと思います。しかもそれを初めから言わないはずさがある。

JR東海は8年使ったらあとはいらんと言っているそうです。残土置場の沢や谷について工事中は土地は借りるけれど、そのあとは知らんと言ってるのと同じです。勝手なものです。後始末は、結局は村や町がすることになるでしょう。喬木村は跡地を商業施設にすると言っています。高森町は工業団地にするつもりようですが、いまから約10年後にそんな需要があるでしょうか。



下市田村水除堤絵図